学校番号	109

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「セミナー生物基礎」　（第一学習社編集部）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義と実験を通して生物に関する知見の向上を目指します。また、生物基礎の内容を必要とする場面においても問題対応力、応用力を発揮できるための演習を十分行い丁寧な解説を通して問題解決能力の向上を目指します。

2　学習の到達目標

1. 生物基礎に必要な用語の確認ができ、様々な問題事象に適応できるようにする。「知識及び技能」
2. 様々な知見をもとに、問題解決力、応用力を発揮でき、生物に関する課題解決を行うことができるようにする。「思考力・判断力・表現力等」
3. 生物に関する問題を解決するために一つの思考に偏らず、他の生徒と意見を交わし、まとめることができる力を育成する。「学びに向かう力、人間性等」

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物学的な知識の習得や知識の概念的な理解。 実験操作の基本的な技術の習得。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる 思考力・判断力・表現力などを身につける。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組み，自ら学習を調整する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 3. 呼吸と光合成	a: 生物は多様でありながら, 共通性をもっていること、生命活動にはエネルギーが必要であること、生命活動にはエネルギーが必要であること、 などを知る。 b: 知識で得た情報を整理し 発展的に考えることができるか c: 実験における考察や単元を終えて振り返ることにより、積極的に授業内容の定着を図っているか。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 観察	ワークシート 実験 考察
	遺伝子の働き	1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の複製と分配 3. 遺伝情報の発現	a: 遺伝情報は DNA の塩基配列にあること、タンパク質のアミノ酸配列は, DNA の塩基配列によって決まること を知る。 b: 知識で得た情報を整理し 発展的に考えることができるか c: 実験における考察や単元を終えて振り返ることにより、積極的に授業内容の定着を図っているか。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 観察	ワークシート 実験 考察
2学期	体内環境の維持	1. 体内での情報伝達と調節 2. 体内環境の維持のしくみ 3. 免疫のはたらき	a: 自律神経系と内分泌系による情報伝達によって, からだの状態の調節が行われること を知る。 b: 知識で得た情報を整理し 発展的に考えることができるか c: 実験における考察や単元を終えて振り返ることにより、積極的に授業内容の定着を図っているか。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 観察	ワークシート 実験 考察

	多様性と環境	1. 植生と遷移 2. 植生の分布とバイオーム	a: 植生の成りたちや相観について世界各地には, 多様なバイオームが成立していることについて理解する。 b: 知識で得た情報を整理し発展的に考えることができるか c: 実験における考察や単元を終えて振り返ることにより、積極的に授業内容の定着を図っているか。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 観察	ワークシート 実験 考察
3学期	生態系	3. 生態系と生物の多様性 4. 生態系のバランスと保全	a: 生態系の保全の重要性について理解する。 b: 知識で得た情報を整理し発展的に考えることができるか c: 実験における考察や単元を終えて振り返ることにより、積極的に授業内容の定着を図っているか	定期考査 小テスト	定期考査 実験 観察	ワークシート 実験 考察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度